

▼申請時は活動計画書に○をつけて下さい。

第2号様式（構想づくり活動助成・実践活動助成用）

活動計画書 / **活動実施計画書**

団体名： ○○まちづくりの会

1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

▶ A-1 【この欄に対応する主な評価視点】 適合性の視点

2 活動地域の特性、現況、課題

- ▶ 活動地域の特性や現状、課題認識を記入してください。（普段の活動地域全体と今回助成を受けようとする活動の対象地区と区別して記入してください。）
- ▶ 地域の特徴のほか、何がどのように課題なのか、なぜ課題となっているのか、などが分かるよう具体的に記入してください。
- ▶ 本計画書「1 助成を受けようとする活動内容」「2 上記活動の目的」との整合が取れるよう記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 必要性の視点

3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

- ▶ これまでに団体が取り組んできた活動等の実績を記入してください。
- ▶ 過去に地域まちづくり助成制度を活用したことがある場合は、その内容も含めて記入してください。
- ▶ 今年度の助成対象活動へのつながりが分かるように記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 メニュー別の視点

4 助成を受けようとする活動の目的

- ▶ 助成を受けようとする活動を実施する目的を具体的に記入してください。
- ▶ 活動計画書「2 活動地域の特性、現況、課題」を踏まえて記入してください。
- ▶ 今回助成を受けようとする活動が、自発的・自立的な市街地の形成・維持・改善および活用にどのようにつながるのか、または直接的につながらない場合は、将来的にどのようにつながるのかを記入してください。
- ▶ 募集要項 P10 の記入例を参考に、都市マスとの関連性を踏まえて記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 必要性・適合性の視点

5 活動による今年度の成果目標

- ▶ 助成を受けようとする活動の実施による今年度末時点での成果目標を記入してください。数量などで示せる目標設定を含めてください。
活動計画書「7(構想策定・実践目的達成)までの想定プロセス」や「8(構想策定・実践目的達成)以後の展望」につながるような目標設定に心がけてください。

【この欄に対応する主な評価視点】 発展性の視点

6 助成を受けようとする今年度の活動内容

- ▶助成を受けようとする活動内容を具体的に記入してください。
- ▶申請書に記入された活動の項目ごとの内容がわかるように記入してください。
- ▶今回助成を受けようとする活動が、自発的・自立的な市街地の形成・維持・改善および活用にどのようにつながるのか、または直接的につながらない場合は、将来的にどのようにつながるのかを記入してください。
- ▶募集要項 P10 の記入例を参考に、都市マスとの関連性を踏まえて記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 必要性・適合性の視点

7 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

- ▶活動を行うために必要な協力・調整の相手方とその理由を記入してください。
- ▶現在の協力・調整の状況や、どのように協力体制を築いていくかなども、あわせて記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 実現性の視点

8 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
R●年 ○月	<p>..... ▶今年度の助成対象活動に関するスケジュールを記入してください。</p>
○月	<p>..... 【この欄に対応する主な評価視点】 実現性の視点</p>
○月	<p>.....</p> <p>.....</p>

8 (構想策定・実践目的達成) までの想定プロセスと以後の展望

【構想づくり活動助成】

- ▶ 構想の策定までのプロセスと構想策定後の展望を、どのように想定しているかを記入してください。
- ▶ 今年度の活動に限らず、構想を策定するまでにどのようなステップが必要と考えているかを整理してください。
- ▶ 構想策定後、その構想をどのように活用するのかなどを記入してください。

【実践活動助成】

- ▶ 実践活動の目的達成までのプロセスと今回の実践活動の目的を達成した後の展望を、どのように想定しているかを実践の目的とあわせて記入してください。
- ▶ 今年度の活動に限らず、実践目的の達成までにどのようなステップが必要と考えているかを整理してください。
- ▶ 実践活動の目的達成後、その成果がどのように次の活動に活かされるのかなどを記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 発展性・メニュー別の視点

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※各記入欄において、【この欄に対応する主な評価視点】を参考に示しておりますが、助成メニューの視点など、全体を通して評価を行う視点もあります。

※ この様式は公開されます。